

# ASANET

No.162  
2020  
11.20

あさどっとねっと

広島県中小企業家同友会

広島安佐支部報

発行：広島県中小企業家同友会 広島安佐支部 広報委員会 編集責任者：広島安佐支部広報委員長 新谷慎一  
広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 8F TEL：082-241-6006 FAX：082-241-6007

## コロナに負けないぞ「With コロナの中で企業価値を高める」

(株)山豊 代表取締役 山本 千曲 氏 (安佐南地区会)

感染予防しながら日常生活を送る with コロナの時代。自粛要請の緩和や都道府県間の移動、大型イベントの解禁、Go To トラベルキャンペーンなど、徐々に経済活動を戻していく動きがはじまりました。一方で、一度おさまりつつあった新規感染者数は徐々に減少傾向がみられているものの、秋冬のインフルエンザ流行シーズンと重なって再度増加することが警戒されています。



丸で頑張っています。

そんな中、日本三大菜漬の一つ広島特産品「広島菜漬」が旬の時期を迎え、弊社では今年 22 回目となる恒例の「広島菜漬始め式」を開催。この祭祀は、社訓であり創業者山本豊の庭訓「初心忘れるべからず」「感謝と謙虚」の心を伝承し、地域に無くてはならない企業を目指し更なる企業価値を高める決意を新たにすべく、社員と広島菜生産者の皆様と共に執り行っております。今年も豊作で良品の広島菜漬が仕上がっておりますので、皆様方にも是非旬の味覚をお楽しみいただければ幸甚です。

弊社においても影響が出始めた 3 月は売上が今年の 7 割、4～5 月を底に緊急事態宣言解除以降現在は 9 割近くまで戻ってきたものの、7 割経済と言われる経済規模の縮小は当面続くものと覚悟しております。逆にいえば、そういった 7 割程度のボリュームでも生き残れるような中長期的な企業変革に取り組めるチャンスと前向きにとらえ全社一



【令和 2 年度 広島安佐支部スローガン】

広島安佐支部 11 月 1 日現在会員数 139 名

EN (えん) t o AI (あい) ~人が繋がる経営をめざして~

【行事報告】 経営フォーラム 2020 第5分科会

## 創業者に嫌われる勇気 事業承継編

～さあどうする？後継者が今すぐやるべき3つのこと～

報告者：(株)タテイシ広美社 代表取締役社長 立石 良典 氏

日時：10月12日（月）13時30分開会 場所：Zoom



初めてのZoom開催で、これまでと違った大変さがあったのではないのでしょうか？なんせ初めての経験ですから、当然すべて100点満点というわけにはいきません。500名からの参加は人数的には成功でしょう。うまくZoomに入れなかったとか、台所仕事をしながら参加したという話や、部分参加が多かったとか、中抜けもあったとか・・・。

私は、「未曾有の経営危機」を、広島同友会のリーダーを中心に、仲間として、自らをさ

らけ出して共に乗り越えようと報告される様は、とても身近に感じ、勇気づけられる基調講演だったと思いました。手の届かないほどの隔たりを感じる立派な講演より、良く存じ上げて社長さんの話は「自分も頑張ろう。頑張れる」「共に頑張ろうよ」と言われている感覚が嬉しかったです。

「気楽な参加の仕方」で言うと、以前から「同友会で経営の勉強をしていただきたい社長さん」がおられ、オブザーバーとして参加していただきました。「Zoomだから」、「気を使わなくても参加できるから」とお誘いしました。急遽参加で「事業承継の5分科会」を選ばれたので、私も当日急遽第1分科会から第5分科会へ無断で変更した次第です。「基調講演で発表されたあの人の娘婿さんよ」とか、こちらでは自由におしゃべり。「世代間ギャップでは」「うちの父もね・・・」と。「豊かな人間力にとってもかなわない、尊敬してる」にも大きな頷き。

小グループでの意見交換も、緊張感や怯むこともなく参加されました。即、「会員になる」との返事は「経営の勉強の必要性」を感じられたのだと嬉しかったです。

当社は、皆様の「止まらない」エネルギーに触発されて、「テレワーク」を全社員に、すべての業務に広げました。環境整備の設備投資をして、所長自ら一歩を踏み出しました。



(記：社会保険労務士法人たんぽぽ会 瀬川徳子)